

SR600 Karst 試走レポート

試走担当：片山泰輔（オダックス近畿神戸班）

コース調査の分割試走を何度か行った後、最終試走を実施。

PC1 坊っちゃんカラクリ時計 ～ PC2 黒森峠

街が寝静まったタイミングに発着地点である坊っちゃんカラクリ時計をスタート。市街を抜けて国道 494 号線へ入ったところで黒森峠への登坂がスタート。斜度は緩いもののそこそこ距離があるので焦らずゆっくりと上っていく。遠くに夜景が見えるようになってくるといよいよ峠が近づいてきたことがわかる。ほどなくして PC2 へ。

PC2 黒森峠～PC3 明神山レーダー雨量測量所

黒森峠最高点から一気に下って仁淀川水系へ。川沿いの道は路面もよく走りやすく、ほどなくして夜が明ける。夜明けとともに中津溪谷沿いを走り、いよいよ中津明神山への登坂がスタート。SR600 Tsurugi で登場する梶ヶ森に勝るとも劣らない斜度の道を黙々と上っていく、本当にキツイ！！汗がひたすらしたたり落ちる。森林限界点を越えたあたりで一気に展望が広がり、これぞ四国！というような光景が見えてくるとテンションが上がる。ほどなくして PC3 に到着する。

PC3 明神山レーダー雨量測量所～PC4 風の里公園

下山してしばらく走ると国道 439 号へ。それほど斜度はないものの、本格的に熱くなってきたので汗が滴り落ちる。トンネル手前の林道に入っていく。この辺りは四万十川源流付近。ほどなくして風車が 20 基ある風の里公園に到着し下山する。

PC4 風の里公園～PC5 神在居千枚田展望所

雨が降り始めたのでレインウェアを着こんで走る。補給スポットがかなり限られており、デイリーヤマザキで昼食。国道 197 号線をしばらく走ってわき道にそれると PC5 神在居千枚田展望所に到着。雨の日の棚田は実に幻想的。

PC5 神在居千枚田展望所～PC6 津賀ダム

いよいよここから本格的な四万十下りが始まる。川沿いの道を突き進む。雨足がかなり強くなってきた。この日は台風が九州に上陸するという予報なので風も強くなってきた。道を急ぐ。雨の日の四万十川流域は実に原始的な雰囲気にあふれている、もちろん晴れているにこしたことはないけども。国道 439 号をひた走り津賀ダムに到着。

PC6 津賀ダム～PC7 江川崎郵便局

国道 439 号に別れを告げると、いよいよ四万十川らしい広大な風景が広がるがこのあたりでこの日は日が暮れた。雨足が強いので、宿泊先までの距離をカウントダウンしながら進む。県道 441 号に入ったところで PC7 の江川崎郵便局に到着。

PC7 江川崎郵便局～PC8 四万十川橋

本当なら日中に沈下橋などを見ながら走る予定だったが、試走にありがち、いろいろあって大きく予定より遅れておりあたりは真っ暗。すさまじい雨と風にさらされて、とにかく早くホテルにつきたいという一心で進む。なんとか四万十市街に到着しホテルにチェックイン。翌日も雨予報ということで出発を後らせてゆっくりと休むことにした。翌朝遅めの出発、四万十川に別れを告げる。

PC8 四万十川橋～PC9 篠山

のどかながら開放的な道を突き進み、どんぐり湖を抜けて篠山を目指す。再び雨足は強くなる。篠山への登坂が始まる。斜度はそれほどないものの昨日の暴風の影響で道はかなり荒れている。PC9 篠山の石碑に到着。

PC9 篠山～PC10 北灘郵便局～PC11 だんだん茶屋

下山して宇和島海を目指す。道中雨がやみ、ここから快適なサイクリングモード。海沿いの道を進むとほどなくして PC10 へ。リアス式海岸特有の切り立ったアップダウンが始まるが晴れてきたのでテンションが上がる。幾多のアップダウンを経て、遊子水荷浦の段畑に到着。写真ではわかりにくいですが、実物は実に巨大かつ壮麗な石垣のようで古人の叡知に感服するよりほかはない。

PC11 だんだん茶屋～PC12 法華津峠

PC11 を後にして、夕暮れに染まる宇和島海を見ながら本日の宿泊先を目指す。国道 56 号を脇にそれて、林道を上っていく。昨日の暴風雨の影響で道はかなり荒れている。斜度は厳しくないでマイペースに上っていき PC12 法華津峠に到着。ここからは宇和島海が見渡せるのだが、生憎日没後ということでほのかな夜景を望む。

PC12 法華津峠～PC13 源氏ヶ駄馬

峠を下山して、ジョイフルで晩飯を食べた後宿にチェックイン。いよいよ明日は四国カルストを走るということでわくわく感を抑えて就寝。早めに起床して西予市街を抜けて道を急ぐ。東へ進路を取って県道 36 号をひた走る。(この時一部区間で通行止めがあったため迂回)。天気も良く滴る汗をぬぐいながら緩やかに始まった登坂区間を走る。道中男水という水汲み場があり(なんでも坂本竜馬が飲んだとか)、すこし休憩。再び走り始め、本格的な林道区間も黙々とこぎ続け、いよいよ視界が広がってきた。四国らしい壮大な高原、大野ヶ

原に到着。さらに高度を上げていき、PC13 源氏ヶ駄馬に到着。標高 1400m を超える地点からは左に四国の山岳、右にカルストの高原が見渡せる。

PC13 源氏ヶ駄馬～PC14 天狗高原

稜線に沿った道を進み、さらに地芳峠の先には、四国カルストの象徴でもある姫鶴平、五段高原、天狗高原へと続く。どこまでも続く天空の草原地帯、そして解放感。澄み切った青き空を見ながら天狗高原に到着。

PC14 天狗高原～PC15 獅子越峠

天狗高原から一気に下山して、小田深山溪谷を走る。溪谷沿いの道は実に清涼感があって気持ちいい。ここしばらくの悪天候で道が荒れているので、心のテンションを押しさえつつ慎重に走る。緩やかな上りをこなして PC15 獅子越峠に到着。

PC15 獅子越峠～PC16 真弓トンネル～PC17 坊っちゃんカラクリ時計

獅子越峠を一気に下山して、そこから久万高原町を目指す。さすがに距離を走ってきただけに緩やかな斜度でも疲れを感じるが、この日は天気も良かったので、楽しく走れる。PC16 真弓トンネルを超えるといよいよ久万高原町。久万高原町を抜けて、三坂峠を下る。いよいよ松山の街が見えてきた。四国カルストの異空間を走ってきた心地よい疲れをかんじながらゴールの坊っちゃんカラクリ時計に到着。ほぼ 60 時間近くかかったけども実に走りごたえのある 600 キロだった。なお、道後温泉界限にはスーパー銭湯が多数ある。やはりゴール後の風呂は最高。